

善通寺市長 様

入居承継承認対象住宅 団地（住宅） 号

入居承継承認申請者 

電話番号

市営住宅入居承継承認申請書

次のとおり市営住宅の入居を承継したいので、承認されるよう申請します。
なお、この申請書及び添付書類に虚偽がある場合は、申請を無効とされても異議を申し立てません。
また、この申請書及び添付書類の内容の真偽について、市長が調査することに同意します。

記 ※太枠内は、記入しないでください。

	氏名	現名義人との続柄	生年月日	年齢	職業及び勤務先	年間所得(円)	本人該当事項			世帯状況			
							寡婦 寡夫	特 障	普 障	同 居	別 居	老 人 扶 養	特 定 扶 養
申請者及び既存同居者						円							
						円							
						円							
						円							
						円							
別居親族扶養													
現名義人	氏名	年 月 日生		世帯総所得額(a)		一人につき27万円以下で控除対象者の年間所得以下							
承継事由	(1)	年月日死亡						人	人	人	人	人	人
	(2)	年月日離婚（内縁関係の解消含む。）により退去						×	×	×	×	×	×
	(3)	その他（ ）						40	27	38	38	10	25
申請者の同居状況	(1)	現在の名義人の入居時に一緒に同居した。					万円						
	(2)	年 月 日同居承認を受けて同居した。					万円						
	(3)	その他（ ）					円	万円	万円	万円	万円	万円	万円
記載上の注意							控除額合計(b) 円						
1 記入についての注意 (1) ペンで分かりやすく書き、押印を忘れないようにしてください。 (2) 『申請者及び既存同居者』と『別居扶養親族』欄には承認済の者を記入してください。 (3) 18歳以上で現在無職の方は、上の『職業及び勤務先』欄に、次の項目を参考にして、該当する番号、記号及び内容を記入してください。 ① 非課税所得の場合……ア 遺族年金 イ 障害年金 ウ その他（ ） ② 扶養を受けている場合……扶養者の住所、氏名、続柄 (4)  内は、記入の必要がありません。 2 添付書類 (1) 入居承継承認申請者の戸籍謄本又は戸籍抄本 (2) 市町村の発行する、18歳以上の世帯員全員の所得証明書及び納税証明書 (3) 障害者（1～6級）の方は、障害者手帳のコピー (4) その他市長が指示する書類							(a)-(b) 収入月額 _____ = _____ 円 12						
							入居承継承認基準額との比較 (1)以下 (2)超過 (3)不問 ()						
							明渡請求事由の有無						
							(1)有り (2)無し (3)その他 ()						
その他調査員（氏名 _____ ）の意見													

(裏)

※太枠内は、記入しないでください。

新 た に 承 継 し よ う と す る 者 に 関 す る 状 況 調 査	1 現在の居住状況 (該当する事項の番号を○で囲み、必要な数値を記入してください。)		調 査 結 果	
	(1)自家 (2)借家 (3)間取り (4)公社・社宅 (5)寮 (6)アパート (7)その他 ()			
	延床面積 _____ m ² 畳数 _____ 畳 室数 _____ 室 家賃月額 _____ 円			
	2 住宅の困窮状況 (該当する事項の番号を○で囲んでください。※複数回答可)			
	不 良 建 物	1 極度に老朽し、倒壊の恐れがあり、保安上注意されている建物又は著しく不衛生な非住宅若しくは仮小屋に居住している。		
		2 極度に老朽している建物に居住している。		
		3 不完全な転用住宅に居住している。		
		4 応急の住宅に居住している。		
	不 完 全 設 備	5 給排水設備が不完全で不衛生なものを使用している。		
		6 間取り等で台所、便所及び給水施設を共同利用している。		
		7 間取り等で台所、便所及び給水施設のうちいずれか1つの施設を共同利用している。		
	過 密 居 住	8 居住している部屋の広さが一人当たり2畳以下で、衛生上又は風教上不適当である。		
9 居住している部屋の広さが一人当たり4畳以下で、衛生上又は風教上不適当である。				
10 居住している部屋が1室のため、風教上不適当である。				
間 取 り	11 親又は妻子と別居している状態が、1年以上経過している。			
	12 上記の状態が、1年未満である。			
	13 扶養すべき親族と別居している。			
	14 間取り (雑居を含む。) により苦痛を受けている。			
立 退 要 求	15 法令に基づいて立退きの要求を受けている。			
	16 会社等の住宅に居住し、名義人の死亡又は退職等により立退きの要求を受けている。			
	17 立退きを求められ、極度の紛争に陥っている。			
	18 正当な理由による通例一般的な立退きの要求を受けている。			
住 宅 費 過 大	19 毎月の家賃が月収の50%以上である。			
	20 毎月の家賃が月収の40%以上である。			
	21 毎月の家賃が月収の30%以上である。			
特 殊 事 情	22 1室を必要とする長期療養患者がおり、居住環境が悪い。			
	23 夫婦と満18歳以上の者が、同室に起居している。			
	24 婚約が成立しているが住宅がないため、婚約できないで困っている。			
	25 世帯構成員に福祉施設へ通学し、又は勤務するものがある。			
そ 他				
加 算	(1)母子世帯 (2)老人世帯 (3)心身障害者世帯 (級) (4)多子世帯 (5)被生活保護世帯			
3 市税の納付状況 (該当する事項の番号を○で囲み、内容を記入してください。)				
(1)完納 (2)未納 () (3)非課税				
4 過去の入居状況 (該当する事項の番号を○で囲み、内容を記入してください。)				
(1)入居なし (2)入居あり (※入居状況)				
5 入居に対する明渡請求事由の有無				
(1)有り () (2)無し (3)その他 ()				
6 その他調査員 (氏名) の意見				

平成 年 月 日

善通寺市長 様

入居承継承認対象住宅 団地（住宅） 号
入居承継承認申請者 ⑩
電 話 番 号

地域改善向改良住宅入居承継承認申請書

次のとおり当該住宅の入居を承継したいので、承認されるよう申請します。
なお、この申請書及び添付書類に虚偽がある場合は、申請を無効とされても異議を申し立てません。
また、この申請書及び添付書類の内容の真偽について、市長が調査することに同意します。

記

※太枠内は、記入しないでください。

	氏 名	現 名 義 人 の 続 柄	生年月日	年齢	職業及び勤務先	年間所得 (円)	本 人 該 当 事 項					世 帯 況	
							寡婦 寡夫	特 障	普 障	同 居	別 居	老 人 扶 養	特 定 扶 養
申請者及び既存同居者						円							
						円							
						円							
						円							
						円							
別居親族扶養													
現 名 義 人	氏名	年 月 日 生		世帯総所得額(a)		一人につき27万円以下で控除対象者の年間所得以下							
承 継 事 由	(1) 年 月 日死亡						人	人	人	人	人	人	
	(2) 年 月 日離婚（内縁関係の解消を含む。）により退去												
記 載 上 の 注 意	(3) その他 ()						40	27	38	38	10	25	
	1 申請についての注意 (1) 申込書の記載事項及び添付書類の内容に偽りがあるときは、承継して入居した後でも、入居は無効となります。 2 記入についての注意 (1) ペンでわかりやすく書き、押印を忘れないようにしてください。 (2) 『申請者及び既存同居者』と『別居扶養家族』欄には承認済みの者を記入してください。 (3) 18歳以上で現在無職の方は、上の『職業及び勤務先』欄に、次の項目を参考にして、該当する番号、記号及び内容を記入してください。 ①非課税所得の場合…ア 遺族年金 イ 障害年金 ウ その他() ②扶養を受けている場合…扶養者の住所、氏名、続柄 (4) 内は、記入の必要がありません。 3 添付書類 (1) 入居承継承認申請者の戸籍謄本又は戸籍抄本 (2) 住民票の写し（申請者及び同居する親族全員） (3) 市町村の発行する、18歳以上の世帯員全員の所得証明書 (4) 誓約書 (5) その他市長が指示する書類（障害者手帳のコピー等）						円	万円	万円	万円	万円	万円	万円
控除額合計 (b)							円						
(a)-(b)							円						
収入 月額							12						
入居承継承認基準額との比較							(1)以下 (2)超過 (3)不問 ()						
明 渡 請 求 事 由 の 有 無							(1)有り (2)無し (3)その他 ()						